

21世紀COEプログラム「心とことば —— 進化認知科学的展開」主催国際セミナー  
のご案内

北京語・共通語・北方語：文法の尺度から見たコイナー化と言語変化  
**Koineization and Language Change: Pekingese, Standard Mandarin and Northern Mandarin**

日時：平成16年（2004）年3月13日（土）13:00～17:00

場所：東京大学駒場キャンパス（京王井の頭線駒場東大前駅から徒歩）10号館301号会議室

使用言語：中国語（自由参加）

**第一部 口語データで北方語の多様性を捉え直す**

司会・コメント：遠藤光暁（青山学院大学）

- ・ Christine LAMARRE（C・ラマール、東京大学）：  
イントロ：「北方方言から見た北京語と共通語の特殊性」
- ・ Katia CHIRKOVA（Leiden University, 本COEプログラム招聘若手研究者）：  
「北京語の口語データから見たアスペクト体系に関わる諸問題」

**第二部 資料データから北方語の歴史的変遷を追う**

司会・コメント：張国憲（東京大学）

- ・ 竹越 孝（愛知県立大学）：  
『老乞大・朴通事』の改訂から見た“着”の機能の変遷
- ・ 李 煒（Lǐ Wěi）（中山大学・大東文化大学）：  
「清朝北京語資料における“給”を含む授与文」

問い合わせ先：東京大学 総合文化研究科 言語情報科学専攻 C・ラマール（C. Lamarre）

メール [lamarre@boz.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:lamarre@boz.c.u-tokyo.ac.jp)

電話：03 5454 6354